

資料4 平成22年度予算編成における健全財政維持に向けた取組

(単位：百万円)

項目	平成22年度 当初予算 効果額	効果額の内容
分権型社会に対応した行政体制の確立	1,892	
・職員の適正配置と効率的な組織・機構の推進により人件費の削減を図る	1,880	職員数の減(135名見込) 【1,124百万円】 水道局(5名見込) 給与改定に伴う効果額 【756百万円】
・外郭団体等の改革を推進する	12	外郭団体への派遣職員等の見直し
民間活力の導入	551	
・指定管理者制度の活用、民間への委託化を推進し、市民サービスの向上とともに財政支出の削減を図る	551	一般廃棄物収集運搬業務の委託化 【78百万円】 学校用務業務の委託化 【40百万円】 小学校給食調理業務の委託化 【71百万円】 区役所総合案内窓口の民間委託化 【7百万円】 指定管理者制度の導入 【355百万円】
健全な財政運営の確保 ～市民負担等のあり方の見直し～	6,620	
・各種補助金や給付について、その目的や役割、成果等の観点から見直す	96	実行委員会等への補助金見直し 【28百万円】 団体等の運営補助金の見直し 【54百万円】 その他経常的な補助金の見直し 【14百万円】
・受益と負担の公平性の観点から、使用料・手数料を見直す	2,302	下水道使用料改定に伴う下水道会計繰出金の効果 【2,299百万円】 建築関係手数料の改定 【3百万円】
・企業会計への繰出金の見直し	4,222	下水道事業会計への繰出金から企業債への振替等 【4,222百万円】
健全な財政運営の確保 ～事業、既存施設等の再編、廃止～	18,093	
・都市基盤整備事業の年次的な平準化を図るとともに、事業の選択と集中により普通建設事業費を圧縮する	16,718	一般会計に属する普通建設事業費 【14,022百万円】 特別会計に属する普通建設事業費 【2,696百万円】
・既存事業の見直し、再編によりコストを削減する	1,375	【見直し事業の主なもの】 国際さいたまシンポジウムの廃止 【12百万円】 目標達成のコンナレ賑わい創出事業の廃止 【23百万円】 事業に直接必要のない食料費の廃止 【12百万円】 岩槻環境センターにおけるプラスチック類処理ルートの見直し 【89百万円】 市立高校夜間警備の機械化 【14百万円】
健全な財政運営の確保 ～自主財源の確保・拡充～	4,715	
・施設の有効活用により財源を確保する	47	ホームページバナー広告ほか 【47百万円】
・今後活用が見込まれない市有地は売却し、財源確保に活用する	961	未利用市有地の売却 ・未利用地公売 【961百万円】
・予算の執行状況を考慮し、特定事業への財源(基金)の確保と有効活用を図る	3,707	平成22年度当初予算における基金積立金 【707百万円】 都市開発基金の取崩しによる有効活用 【3,000百万円】
効果額の合計	31,871	

当該行革効果は、平成22年度予算編成における単年度の効果(対平成21年度予算に対しての効果)としております。